

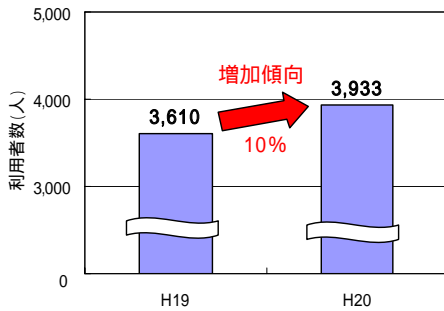
< 整備効果 >

1. 沿道活性化への寄与

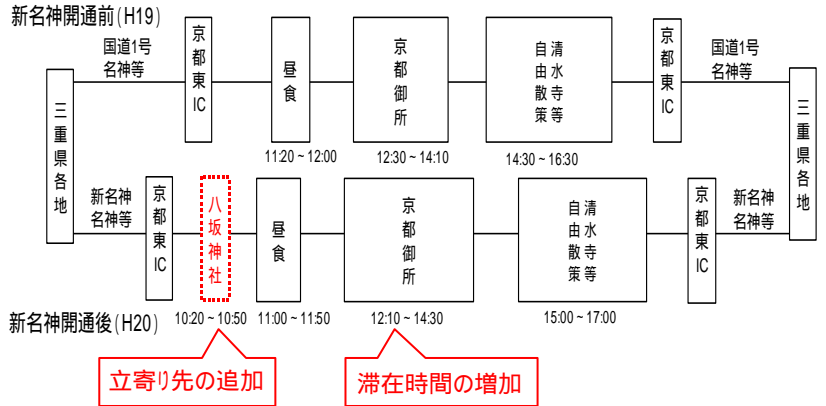
1) 観光バスツアーが好調

- ・新名神高速道路利用のツアーでは、新名神への経路転換により、時間短縮が図られ、ツアーの立寄り先の拡充が図られています。
- ・三重県から京都方面への日帰りバスツアーのうち、新名神に利用経路を変更したツアーの利用客数を見ると、全体として増加傾向にあることが確認されました。

Aバス会社「三重～京都」の利用客数
(3月～7月の合計値)



京都日帰りツアーのコース設定変更の事例 (Aバス会社)



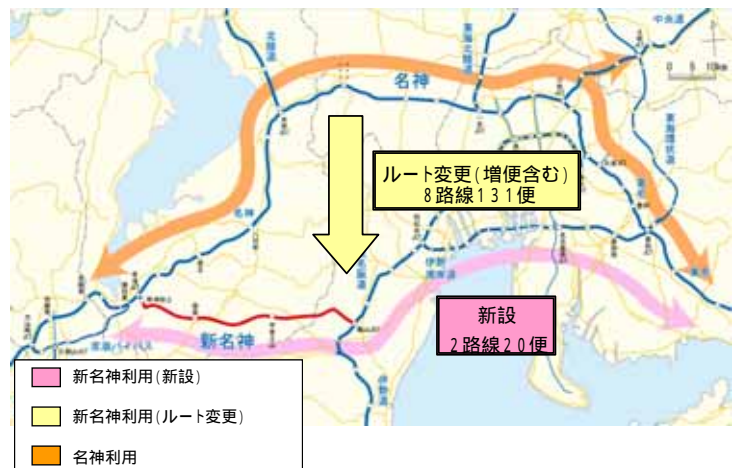
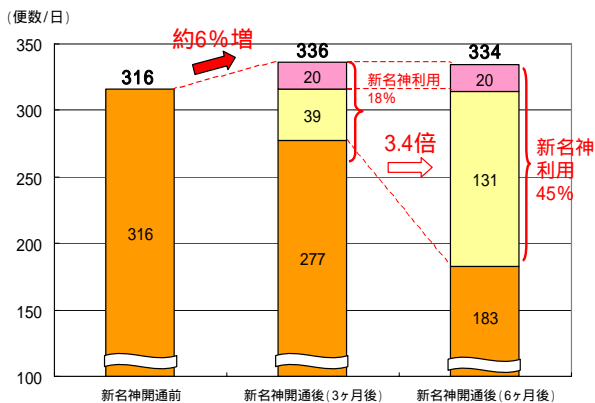
- ・新名神の開通で伊勢方面への旅行客も増加しています。
- ・新名神の開通により、新たなバス路線を開設することが可能となりました。

(A旅行会社)

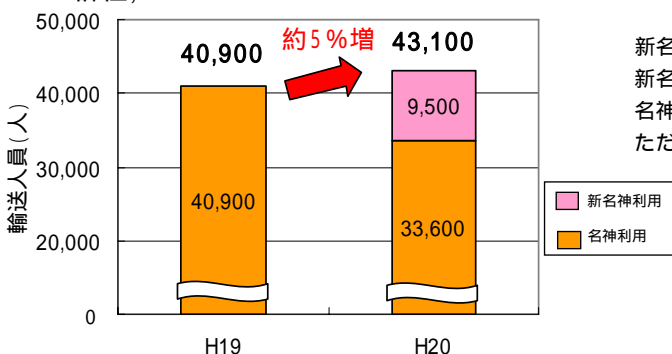
2) 新名神利用の高速バスの利用客数の状況

- ・新名神高速道路の開通後、名神高速道路から新名神高速道路へルート変更したバス路線は、全体の約45%に達していることが確認されました。開通3ヶ月後と比較して、約3.4倍になります。
- ・名神高速道路から新名神高速道路に利用経路を変更したバス3会社の路線では、利用客数が約5%増加していることが確認されました。

高速バス便数の変化



名神から新名神に利用経路を変更したバス3会社の路線での利用客数の変化(4月～6月の合計値)

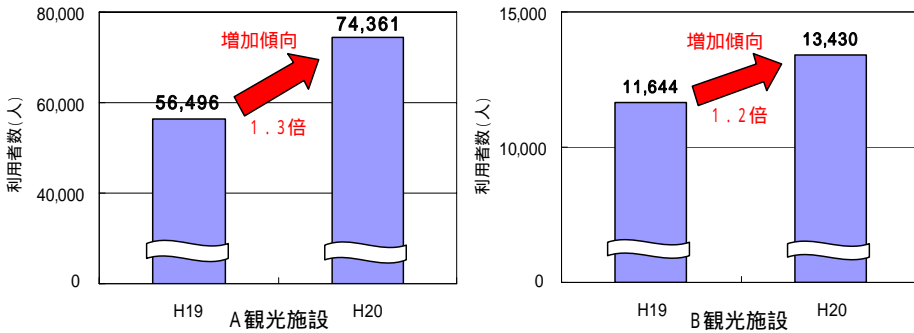


新名神開通前: 高速バス時刻表 2007 秋・冬号データ
新名神開通後: NEXCO西日本調べ(バス会社への電話ヒアリング)
名神 草津JCT～瀬田JCTを通過する高速バス路線を対象とする。
ただし、北陸道、東海北陸道、伊勢道、岐阜発着便を除く

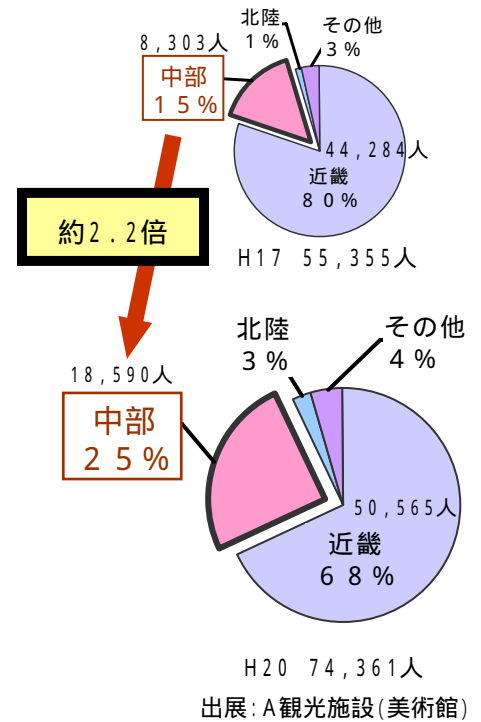
3) 沿線観光施設の観光客が増加

・新名神高速道路開通区間の沿線観光施設の入り込み客数が増加傾向にあることが確認されました。
 ・地域別では、特に中部圏からの観光客が約2.2倍に増加しており、広域的な交流が活発化しています。

観光施設の来客実績 (3月～7月の合計値)



A 観光施設の地域別来客実績



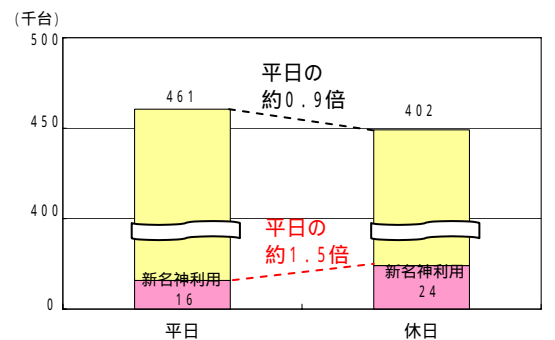
- ・新名神高速道路(甲賀土山～亀山J)約29千万台/日のうち、約7割が東名阪道、伊勢道¹、伊勢湾岸道のインターチェンジを利用して²。
- ・東名阪道、伊勢道、伊勢湾岸道の全ICの出入交通量は、休日において平日の約0.9倍であり、平日交通の方が大きいですが、新名神高速道路を利用する交通では約1.5倍であり、逆に休日交通の方が大きくなっています。
- ・東名阪道 鈴鹿ICが最寄となるC観光施設のゴールデンウィークにおける駐車場利用調査では、新名神高速道路を経由する滋賀、京都、兵庫などからの利用が伸びています。

新名神高速道路と東名阪道、伊勢道、伊勢湾岸道間の交通動向

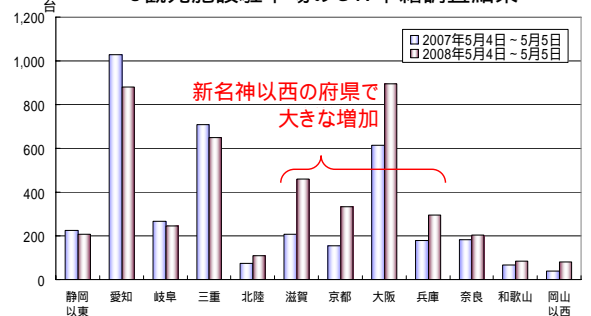


1 伊勢道には紀勢道を含む
 2 交通量はH20.3～H20.6末までの平均値
 3 名古屋周辺:東名阪道、伊勢湾岸道の愛知県内のIC
 4 北勢地域:東名阪道の三重県内のIC
 5 中・南勢地域:伊勢道のIC
 6 四捨五入の関係で交通量の合計が合わない場合がある

東名阪道、伊勢道、伊勢湾岸道の総IC出入交通量



C 観光施設駐車場のGW車籍調査結果



出典: C 観光施設ヒアリング